

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
現代の国語	2	1年・1類	必修
授業担当者	教科書名		副教材等
*****	現代の国語（第一学習社）		漢字トレーニング セレクト (いっすな書店)

科目の到達目標
言語活動を通して、国語で的確に理解し、効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価の観点と方法について	a (知識・技能) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。
b (思考・判断・表現)	各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
c (主体的に学習に取り組む態度)	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。
以上の観点について、定期テスト・レポート・小テストなどを通して確認する。	

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一学期	4	「生き物として生きる」 中村桂子 『『本当の自分』幻想』 平野啓一郎	- 筆者の提案する人間の生き方について、文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深める。 - 主題に至る論の構成を把握し、主張に説得力を持たせるための論の展開について考える。	- 評論文について理解すると共に、意味段落の対比構造、意味段落相互の関係性に注意して読解する。・例示などの修辞を理解する。 - 反論を示すことによって自分の主張の正しさを補強する推論の仕方を理解する。
	5	待遇表現 「水の東西」 山崎正和	- 相手や場に応じた表現が選択できるようになる。 - 東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴を論じる叙述の方法を把握する。	- 敬語表現を意識した言葉遣いを理解する。 - 情報と情報を対比させた展開を読み、学習課題に沿って論理の展開を分析する。
	6	「ものごとことば」 鈴木孝夫	具体（例示）と抽象（意見）の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解する。	主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。
	7	日本の労働問題に関わる資料を読み比べる 論理的な表現 1学期末考査	- 必要な情報を読み取り、複数の情報を関連づけてまとめる。 - 論理的に表現するための、主張と理由の関係性や妥当性について理解する。	- 文章や図表に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。 - 論理的な表現のために重要な点を理解する。 - 主張と理由の適切なつながりを検討する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一 学 期	9	「無彩の色」 港千尋	・ネズミ色のイメージをマイナスからプラスに転じる論展開と、筆者が論拠としてあげる事例を把握する。	・例示された個別の情報を具体的に検証し、筆者の考えとの関係を整理する。
	10	「現代の『世論操作』」 林香里 情報の探索と選択 情報源の明示 「フェアな競争」 内田樹	・情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持つ。 ・必要な情報を探す方法を理解する。 ・引用の目的と効用を理解する。 ・筆者が自説を述べるための論の進め方を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を押さえる。	・個別の情報をどのように一般化しているかを捉える。 ・情報の信頼性や妥当性の吟味の仕方を理解する。 ・引用の具体的な方法を理解する。 ・接続の仕方に注意して内容・構成を捉える。
	11	「不均等な時間」 内山節	・具体例→一般への展開と、対比の構造とを手がかりとして、近代化と時間の合理性との関係を理解する。	・対比による推論を叙述を基に理解し、学習課題に従って要旨をまとめようとしている。
	12	実用的な手紙の書き方	・実用的な手紙文として、依頼文と案内文の書き方を理解し、実践する。	・相手に伝える内容を整理した上で、情報を適切に伝える文章の書き方を習得する。
		2学期末考査		
三 学 期	1	理想の修学旅行をプレゼンする	・情報を大勢の聞き手にわかりやすく説明するプレゼンテーションの方法を理解し、実践する。	・効果的なスライドの作り方を理解する。
	2	「ロビンソン的人間と自然」 村岡晋一	・「ロビンソン・クルーソー」を例として取り上げた筆者の意図を理解したうえで、主張を把握する。	・具体例を通して提示される問題点を捉える。 また、それに対する筆者の考えを、具体例を参考にしながら読み取る。
	3	自校の生徒の生活実態を調査する 問題演習 学年末考査	・目的に沿った調査の方法を理解し、実践する。	・報告文の書き方を理解し、実践し、評価する。

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

- ・ 感覚的に読解するのではなく、文や文章の構成を的確に把握することで、論理的な読解ができるように意識して取り組む。
- ・ 各学習課題に沿って進んで学習活動に取り組もうとする姿勢をレポートなどで確認し、主体的に学びに取り組む態度として評価する。
- ・ 小テストを実施し、評価に組み込む。
- ・ 小論文入試・論述問題を視野に入れながら、計画的に文章表現の練習を行い、添削講座にも参加する。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
言語文化	2	1年1類	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
*****	言語文化 (第一学習社)	古文単語 330 (いいずな書店)	

科目の到達目標
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価の観点と方法について
a(知識・技能)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。b(思考・判断・表現)「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。c(主体的に学習に取り組む態度)言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
	4	古文の学習 説話 「児のそら寝」	・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を知る。	・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。
	5	「絵仏師良秀」 『宇治拾遺物語』 古文を読むために 1、2 1学期中間考査	・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。	・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を理解する。
		歌物語	・古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取る。	・主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。
	6	「芥川」 「筒井筒」 『伊勢物語』	・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。	・歌物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を理解する。
	7	古文を読むために 3 1学期末考査		・歌物語では感動の中心が歌にあることを理解し、内容や展開を的確に捉える。
				・主として用言の活用について、文語のきまりを理解する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	随筆 「九月ばかり」 「中納言参りたまひて」 『枕草子』 古文を読むために 6	・自由に記述された随筆を読んで、 当時の人々の生活感覚や興味の 対象を知り、ものの見方・考え 方を理解する。	・随筆のさまざまな文体や取り上げられ た対象に触れ、解釈を深める。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。
	10	2 学期中間考査		・主として敬語について文語のきまりを 理解する。
	11	漢文の学習 訓読に親しむ (一)、(二) 日記 「門出」 「帰京」 『土佐日記』 随筆 「ある人、弓射ることを 習ふに」 『徒然草』 古文を読むために 4	・我が国の言語文化についての理 解を深めるために、古典として の漢文を読むことの意義を知 る。 ・我が国最初の日記文学を読んで、 記録としての日記とは異なる表 現方法と随筆意図を読み解く。 ・『枕草子』とは異なる思索的な随 筆を読んで、作者の批判的精神 が提示する事柄を具体的に読み 解く。	・漢文を訓読するための基礎知識として、 返り点の種類と使い方、助字のはたら きと意味を習得する。 ・女性に仮託して書かれた日記という文 章の種類を踏まえて、内容や展開を的 確に捉える。 ・本文中に表れた作者の批評・教訓・感 動などを積極的に読み取る。 ・主として助動詞について、文語のきま りを理解する。
	12	2 学期末考査		
三 学 期	1	俳諧紀行文 「平泉」 『奥の細道』 訓読に親しむ (三) 古典の詩歌 『万葉集』、『古今和歌 集』、『新古今和歌集』 3 学期末考査	・俳諧紀行文における散文と句の 関係を理解し、作品に表れた作 者の思想や心情を捉える。 ・訓読のきまりを理解する。 ・我が国の伝統文化の一つである 和歌の鑑賞のしかたを理解し、 黎明期、発展期、成熟期の和歌 の特色を捉える。	・句に感動の中心がある俳諧紀行文とい う文章の種類を踏まえて、内容や展開 を的確に捉える。 ・漢文を訓読するための基礎知識として、 再読文字の種類と読み方を習得する。 ・枕詞や序詞などの和歌の修辞について、 文語のきまりを理解する。 ・掛詞・縁語・見立てなどの和歌の修辞 について、文語のきまりを理解する。 ・本歌取り・本説取り・体言止めなどの 和歌の修辞について、文語のきまりを 理解する。

その他 (履修上の留意点・大学等進学のための学習など)

- ・正確な読解に向けて古文の文法や古語、漢文の句形の学習を心がけること。また知識・技能を身につけるとともに我が国の言語文化に対する理解を深めるよう心がけること。
- ・伝え合う活動などを通して、内容理解を深め、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり、深めたりすること。
- ・小テストを実施し、評価に組み込む。
- ・ノートやレポートの提出状況・内容も評価に組み込む。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
現代の国語	2	1年2類	必修
授業担当者	教科書名		副教材等
*****	現代の国語（第一学習社）		常用漢字パーフェクトクリア

科目の到達目標
言語活動を通して、国語で的確に理解し、効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価の観点と方法について
a（知識・技能） 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。b（思考・判断・表現） 各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。c（主体的に学習に取り組む態度） 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。
以上の観点について、定期テスト・レポート・小テストなどを通して確認する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一学期	4	「生き物として生きる」 中村桂子 『『本当の自分』幻想』 平野啓一郎	- 筆者の提案する人間の生き方について、文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深める。 - 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための論の展開について考える。	- 評論文について理解すると共に、意味段落の対比構造、意味段落相互の関係性に注意して読解する。・例示などの修辭を理解する。 - 反論を示すことによって自分の主張の正しさを補強する推論の仕方を理解する。
	5	「羅生門」 芥川龍之介	下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取るなどして、自分の意見や考えを論述する。	自分の意見や考えを論述するための文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを理解する。
		1学期中間考査		
		「水の東西」 山崎正和	東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴にを論じる叙述の方法を把握する。	情報と情報を対比させた展開を読み、学習課題に沿って論理の展開を分析する。
	6	「ものごとことば」 鈴木孝夫	具体（例示）と抽象（意見）の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解する。	主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。
		論理的な表現	論理的に表現するための、主張と理由の関係性や妥当性について理解する。	- 論理的な表現のために重要な点を理解する。 - 主張と理由の適切なつながりを検討する。
	7	問題演習① 1学期末考査		

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	「無彩の色」 港千尋	・ネズミ色のイメージをマイナスからプラスに転じる論展開と、筆者が論拠としてあげる事例を把握する。	・例示された個別の情報を具体的に検証し、筆者の考えとの関係を整理する。
		『文化』としての科学 池内了	・筆者が主張する科学と技術の違いを対比的に整理し、現状における科学と技術の関係を理解する。	・接続の仕方に注目して文章の構成をつかむ。
	10	情報の探索と選択 問題演習② 二学期中間考査 「現代の『世論操作』」 林香里	・必要な情報を探す方法を理解する。	・情報の信頼性や妥当性の吟味の仕方を理解する。
	11	情報源の明示 「フェアな競争」 内田樹	・情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持つ。	・個別の情報をどのように一般化しているかを捉える。
	12	実用的な手紙の書き方 問題演習③ 2学期末考査	・引用の目的と効用を理解する。 ・筆者が自説を述べるための論の進め方を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を押さえる。 ・実用的な手紙文として、依頼文と案内文の書き方を理解し、実践する。	・引用の具体的な方法を理解する。 ・接続の仕方に注意して内容・構成を捉える。 ・相手に伝える内容を整理した上で、情報を適切に伝える文章の書き方を習得する。
三 学 期	1	「不均等な時間」 内山節	・具体例から一般への展開と、対比の構造とを手がかりとして、近代化と時間の合理性との関係を理解する。	・対比による推論について、叙述を基に理解し、要旨をまとめる。
	2	「ロビンソンの人間と自然」 村岡晋一 理想の修学旅行をプレゼンする	・「ロビンソン・クルーソー」を例として取り上げた筆者の意図を理解したうえで、主張を把握する。 ・情報を大勢の聞き手にわかりやすく説明するプレゼンテーションの方法を理解し、実践する。	・具体例を通して提示される問題点を捉える。 また、それに対する筆者の考えを、具体例を参考にしながら読み取る。 ・効果的なスライドの作り方を理解する。
	3	問題演習④ 学年末考査		

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

- ・ 感覚的に読解するのではなく、文や文章の構成を的確に把握することで、論理的な読解ができるように意識して取り組む。
- ・ 小テストを実施し、評価に組み込む。
- ・ 教科書の読解だけでなく新聞や参考書等も読み、授業で培った読解法を実践していくことで確かな学力を自主的に育んでいく。
- ・ 小論文入試・論述問題を視野に入れながら、計画的に文章表現の練習を行い、添削講座にも参加する。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
言語文化	3	1年2類	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
*****	言語文化（第一学習社）	古文単語集・古典文法テキスト等	

科目の到達目標
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価の観点と方法について
a (知識・技能) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。b (思考・判断・表現) 「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。c (主体的に学習に取り組む態度) 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。以上の観点について、定期テスト・レポート・小テストなどを通して確認する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一学期	4	児のそら寝 絵仏師良秀	・ 古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや古文における人物造形のおもしろさを読み取る。	・ 歴史的仮名遣いや古今異義語・品詞の種類について、文語のきまりを理解する。 ・ 説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。
	5	なよ竹のかぐや姫 漢文の学習 訓読に親しむ	・ 古典特有の世界観に慣れるとともに、千年以上前に作られた物語が現代まで継承されていることを知る。 ・ 我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を知る。	・ 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・ 漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方、助字のはたらきと意味を習得する。
	6	1 学期中間考査 伊勢物語 「芥川」 「東下り」 「筒井筒」 古典文法 (動詞・形容詞・形容動詞) 漁父之利 狐借虎威 蛇足	・ 話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 ・ 漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。	・ 歌物語では感動の中心が歌にあることを理解し、内容や展開を的確に捉える。 ・ 動詞・形容詞・形容動詞の活用について学ぶ。 ・ 訓読のきまりを理解する。 ・ 漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。
	7	1 学期末考査 夏期講習 (助動詞)		・ 助動詞の意味と用法を理解する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	枕草子 「九月ばかり」 「中納言参りたまひて」 古典文法（助動詞復習） 土佐日記 「門出」 「帰京」	・自由に記述された随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解する。 ・我が国最初の日記文学を読んで、記録としての日記とは異なる表現方法と随筆意図を読み解く。	・自由な文体の随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・女性に仮託して書かれた日記という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。
	10	先従隗始 完璧 二学期中間考査 徒然草 「花は盛りに」	・史伝の舞台となる時代背景を知るとともに、作中に描かれた登場人物の考えや人物像を読み取る。 ・思索的な随筆を読んで、作者の批判的精神が提示する事柄を具体的に読み解く。	・史伝という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・さまざまな文体を駆使した随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。
	11	「九月二十日のころ」 古典文法（敬語） 臥薪嘗胆 自分の感受性くらい（茨木のり子）	・やや長めの史伝を読んで登場人物を押さえ、主要な人物の考えや主張を読み取る。 ・現代詩の鑑賞のしかたを理解し、作品にこめられた作者の批判精神を読み取る。	・敬語の用法について理解する。 ・登場人物の言動を粘り強く読み取り、そこに表れたものの見方、感じ方、考え方を捉えようとしている。 ・「～のせいにはするな」という繰り返しを読み解き、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。
	12	問題演習 2学期末考査 冬期講習（助詞）		
三 学 期	1	万葉集・古今和歌集・新古今和歌集	・我が国の伝統文化の一つである和歌の鑑賞のしかたを理解し、黎明期の和歌の特色を捉える。	・和歌という文章の種類を踏まえて、情景や心情など、内容や展開を的確に捉える。
	2	奥の細道 「平泉」 唐詩の世界	・俳諧紀行文における散文と句の関係を理解し、作品に表れた作者の思想や心情を捉える。 ・表現や技法（押韻や対句）に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。	・句に感動の中心がある俳諧紀行文という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・漢詩のきまりを進んで理解する。
		桃花源記 問題演習	・漢文の散文作品に触れて読みに慣れるとともに、散文作品に示される主題、唐代伝奇小説の発想のおもしろさを味わう。	・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。
	3	学年末考査		

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

- ・ 予習として、古文は音読・本文書写・口語訳を、漢文は音読・本文書写・書き下し文をしておくこと。
- ・ 大学入試に向けての基礎学力養成のため単語・古典文法の小テストを実施し、評価の一部とする。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
現代の国語	2	1年・3類	必修
授業担当者	教科書名		副教材等
*****	現代の国語（第一学習社）		漢字トレーニング セレクト (いっずな書店)

科目の到達目標
言語活動を通して、国語で的確に理解し、効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価の観点と方法について	a (知識・技能) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。
b (思考・判断・表現)	各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
c (主体的に学習に取り組む態度)	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。
以上の観点について、定期テスト・レポート・小テストなどを通して確認する。	

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一学期	4	「生き物として生きる」 中村桂子 『『本当の自分』幻想』 平野啓一郎	- 筆者の提案する人間の生き方について、文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深める。 - 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための論の展開について考える。	- 評論文について理解すると共に、意味段落の対比構造、意味段落相互の関係性に注意して読解する。・例示などの修辞を理解する。 - 反論を示すことによって自分の主張の正しさを補強する推論の仕方を理解する。
	5	待遇表現	相手や場に応じた表現が選択できるようになる。	敬語表現を意識した言葉遣いを理解する。
		「水の東西」 山崎正和	東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴を論じる叙述の方法を把握する。	情報と情報を対比させた展開を読み、学習課題に沿って論理の展開を分析する。
	6	「ものごとことば」 鈴木孝夫	具体（例示）と抽象（意見）の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解する。	主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。
	7	話し方の工夫	話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。	相手により伝わりやすい表現方法を理解する。
		論理的な表現	論理的に表現するための、主張と理由の関係性や妥当性について理解する。	- 論理的な表現のために重要な点を理解する。 - 主張と理由の適切なつながりを検討する。
		1学期末考査		

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	「無彩の色」 港千尋	・ネズミ色のイメージをマイナスからプラスに転じる論展開と、筆者が論拠としてあげる事例を把握する。	・例示された個別の情報を具体的に検証し、筆者の考えとの関係を整理する。
	10	「現代の『世論操作』」 林香里	・情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持つ。	・個別の情報をどのように一般化しているかを捉える。
		情報の探索と選択	・必要な情報を探す方法を理解する。	・情報の信頼性や妥当性の吟味の仕方を理解する。
	11	情報源の明示 「フェアな競争」 内田樹	・引用の目的と効用を理解する。 ・筆者が自説を述べるための論の進め方を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を押さえる。	・引用の具体的な方法を理解する。 ・接続の仕方について注意して内容・構成を捉える。
		日本の労働問題に関わる資料を読み比べる	・必要な情報を読み取り、複数の情報を関連づけてまとめる。	・文章や図表に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。
	12	実用的な手紙の書き方	・実用的な手紙文として、依頼文と案内文の書き方を理解し、実践する。	・相手に伝える内容を整理した上で、情報を適切に伝える文章の書き方を習得する。
		2学期末考査		
三 学 期	1	理想の修学旅行をプレゼンする	・情報を大勢の聞き手にわかりやすく説明するプレゼンテーションの方法を理解し、実践する。	・効果的なスライドの作り方を理解する。
	2	「不均等な時間」 内山節	・具体例→一般への展開と、対比の構造とを手がかりとして、近代化と時間の合理性との関係を理解する。	・対比による推論を叙述を基に理解し、学習課題に従って要旨をまとめようとしている。
	3	自校の生徒の生活実態を調査する 学年末考査	・目的に沿った調査の方法を理解し、実践する。	・報告文の書き方を理解し、実践し、評価する。

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

- ・ 感覚的に読解するのではなく、文や文章の構成を的確に把握することで、論理的な読解ができるように意識して取り組む。
- ・ 各学習課題に沿って進んで学習活動に取り組もうとする姿勢をレポートなどで確認し、主体的に学びに取り組む態度として評価する。
- ・ 小テストを実施し、評価に組み込む。
- ・ 小論文入試・論述問題を視野に入れながら、計画的に文章表現の練習を行い、添削講座にも参加する。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
言語文化	2	1年3類	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
*****	言語文化 (第一学習社)		

科目の到達目標
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価の観点と方法について
a(知識・技能)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。b(思考・判断・表現)「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。c(主体的に学習に取り組む態度)言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
	4	古文の学習 説話 「児のそら寝」	・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を知る。	・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。
	5	「絵仏師良秀」 『宇治拾遺物語』 古文を読むために1、2 1学期中間考査	・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。	・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を理解する。
		歌物語	・古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取る。	・主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。
	6	「芥川」 「筒井筒」 『伊勢物語』	・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。	・歌物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を理解する。
	7	古文を読むために3 1学期末考査		・歌物語では感動の中心が歌にあることを理解し、内容や展開を的確に捉える。
				・主として用言の活用について、文語のきまりを理解する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	随筆 「九月ばかり」 「中納言参りたまひて」 『枕草子』 古文を読むために6	・自由に記述された随筆を読んで、 当時の人々の生活感覚や興味の 対象を知り、ものの見方・考え 方を理解する。	・随筆のさまざまな文体や取り上げられ た対象に触れ、解釈を深める。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。
	10	2学期中間考査		・主として敬語について文語のきまりを 理解する。
		漢文の学習 訓読に親しむ(一)、(二)	・我が国の言語文化についての理 解を深めるために、古典として の漢文を読むことの意義を知 る。	・漢文を訓読するための基礎知識として、 返り点の種類と使い方、助字のはたら きと意味を習得する。
	11	日記 「門出」 「帰京」 『土佐日記』 随筆 「ある人、弓射ることを 習ふに」 『徒然草』 古文を読むために4	・我が国最初の日記文学を読んで、 記録としての日記とは異なる表 現方法と随筆意図を読み解く。 ・『枕草子』とは異なる思索的な随 筆を読んで、作者の批判的精神 が提示する事柄を具体的に読み 解く。	・女性に仮託して書かれた日記という文 章の種類を踏まえて、内容や展開を的 確に捉える。 ・本文中に表れた作者の批評・教訓・感 動などを積極的に読み取る。
	12	2学期末考査		・主として助動詞について、文語のきま りを理解する。
三 学 期	1	俳諧紀行文 「平泉」 『奥の細道』 訓読に親しむ(三)	・俳諧紀行文における散文と句の 関係を理解し、作品に表れた作 者の思想や心情を捉える。 ・訓読のきまりを理解する。	・句に感動の中心がある俳諧紀行文とい う文章の種類を踏まえて、内容や展開 を的確に捉える。
		古典の詩歌 『万葉集』、『古今和歌 集』、『新古今和歌集』 3学期末考査	・我が国の伝統文化の一つである 和歌の鑑賞のしかたを理解し、 黎明期、発展期、成熟期の和歌 の特色を捉える。	・漢文を訓読するための基礎知識として、 再読文字の種類と読み方を習得する。 ・枕詞や序詞などの和歌の修辞について、 文語のきまりを理解する。 ・掛詞・縁語・見立てなどの和歌の修辞 について、文語のきまりを理解する。 ・本歌取り・本説取り・体言止めなどの 和歌の修辞について、文語のきまりを 理解する。
その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など） ・正確な読解に向けて古文の文法や古語、漢文の句形の学習を心がけること。また知識・技能を身につけるとともに我が国の言語文化に対する理解を深めるよう心がけること。 ・伝え合う活動などを通して、内容理解を深め、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり、深めたりすること。 ・小テストを実施し、評価に組み込む。 ・ノートやレポートの提出状況・内容も評価に組み込む。				